

2 章 樋門・樋管

2.1 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管

2章 樋門・樋管

2.1 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管

1. 適用

軟弱地盤上の河川堤防内に設置するPCプレキャスト構造の樋門・樋管に適用する。但し、特殊な構造の樋管や函体の沈下を許容することが困難な樋管等については適用しない。

2. 数量算出項目

プレキャストブロック数、目地の箇所数、PCケーブル組立、グラウト注入延長を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報		
			規格	単位	数量
プレキャストブロック		A	○	ブロック	
目地		B	○	箇所	
PCケーブル組立		B	○	式	
グラウト		B	×	m	シース延長

規 「プレキャストブロック」は、BIM/CIMモデルより必要ブロック数をカウントし、属性情報より規格を区分することより「A」を適用する。

「目地」は、簡易な形状（点、線、面）を用いて位置と箇所数を算出し、属性情報を用いて規格を区分することより「B」を適用する。

「PCケーブル組立」は、簡易な形状（点、線、面）を用いて位置とPCケーブル延長等を算出し、属性情報を用いて規格を区分することより「B」を適用する。

「グラウト」は、簡易な形状（点、線、面）を用いて位置と延長を算出することより「B」を適用する。

(2) 規格区分

目地の箇所数を目地の材質によって区分して算出する。

目地材質 ———— 無収縮モルタル
 └——— ゴム

無収縮モルタルの使用量は1ブロック当り0.06m³とする。

項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報		
			規格	単位	数量
PCケーブル		B	○	kg	ロス率 5%
シース		B	○	m	ロス率 6%
定着装置		B	○	個	
PCケーブル組立		B	×	ケーブル数	

BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする
ケーブル延長は定着装置内面間の実延長とし、シースは実長より算出する。なお、ロス率は含まない数量とする。